

[専門教育科目/看護の展開/母性看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護援助論Ⅱ	NSP33_006	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田中 深雪	409	m.tanaka	火曜日 3.4 限		
授業の目的・概要	妊娠・分娩・産褥期における母性及び胎児・新生児とその家族の事例をとりあげウェルネスレベルの看護診断の技法を用いて正常な妊娠・分娩・産褥・新生児の経過を家族の役割なども含めてアセスメントし、看護計画の立案および評価という一連のプロセスの基本的な展開方法を学習する。産褥期、新生児期の母子の看護過程について課題学習を通して理解し、その後の授業においてフィードバック、意見交換を行う。				
学習上の助言	3年後期の母性看護学実習に直接つながる学習となる。ウェルネス看護過程、産褥期・新生児期の知識や技術をその都度確認しながら事例展開を行うこと。				
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①/著:森恵美 他/医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②/著:森恵美 他/医学書院「2冊指定」				
参考書	根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画/中村幸代/南江堂 母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰで使用したテキスト、配布資料、参考書など				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点をもとに、多様な価値観を尊重した看護のあり方を考えることができる。		NS(1)(2)		
②	産褥期、新生児期の母子の健康状態(健康上の問題)を判断し、健康増進に向けて必要な看護を考えることができる。		NS(2)(3)(4)		
③	産褥期および新生児期にある母子とその家族の看護に必要な基本的技術を実践することができる。		NS(2)(3)(4)		
④	学生同士で協力し協調性及びリーダーシップをはぐくむことができる		NS(2)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	産褥期の看護過程の展開 1-① 情報の整理、アセスメント(様式 1.2.4) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	【課題】①産褥の事例を読み込み知識の整理を行う②事例の情報整理を行う		3
2	産褥期の看護過程の展開 1-② 情報の整理、アセスメント(様式 1.2.4) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	【課題】アセスメントを行う		3
3	産褥期の看護過程の展開 1-③ アセスメント(様式 4) 看護計画立案(様式 5) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	【課題】①アセスメントを行う②看護計画を立案する		3
4	産褥期の看護過程の展開 1-④ 看護計画立案(様式 5) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	【課題】看護計画を立案する		3
5	産褥期の看護過程の展開 1-⑤ 実施、評価、退院指導計画の立案(様式 6.7) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	【課題】①評価、看護計画の追加、修正を行う②退院指導計画を立案する		3
6	産褥期の看護過程の展開 1-⑥ 実施、評価、退院指導計画の立案(様式 6.7) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	【課題】①評価、看護計画の追加、修正を行う②退院指導計画を立案する		3
7	新生児期の看護過程の展開 2-① 情報整理、アセスメント(様式 3.4)	同時双方向型授業	【課題】①新生児の情報整理、アセスメントを行う		3
8	新生児期の看護過程の展開 2-② アセスメント(様式 4)	同時双方向型授業	【課題】アセスメントを行う		3
9	新生児期の看護過程の展開 2-③ アセスメント(様式 4)、看護計画立案(様式 5)	同時双方向型授業	【課題】①アセスメントを行う②看護計画を立案する		3
10	新生児期の看護過程の展開 2-④ 看護計画立案(様式 5)	同時双方向型授業	【課題】看護計画を立案する		3

[専門教育科目/看護の展開/母性看護学]

11	新生児期の看護過程の展開 2-⑤ 実施、評価(様式 6)	同時双方向型授業	【課題】評価、看護計画の追加、修正を行う		3		
12	新生児期の看護過程の展開 2-⑥ 実施、評価(様式 6)	同時双方向型授業	【課題】評価、看護計画の追加、修正を行う		3		
13	ウェルネス看護過程のまとめ	同時双方向型授業	【課題】産褥期、新生児期に必要な知識の整理を行う。看護過程の見直しを行う		3		
14	産後ケア①	同時双方向型授業	【課題】産後ケアについてのレポートをまとめる		3		
15	産後ケア②	同時双方向型授業	【課題】産後ケアについてのレポートをまとめる		3		
試							
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		20	60	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	10	20	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	10	20	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
		0	20	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	学習内容の知識を問う試験を行う。全体の 20%で評価する。				試験後に解説を実施する。	
	②						
	③						
	④						
レポート	①	看護過程展開記録およびレポートを全体の 60%で評価する。				各回課題提出後フィードバックを行う。 レポートはコメントを付して返却する。	
	②						
	③						
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	課題提出状況、取り組み姿勢(教員とのコミュニケーションを含む)を全体の 20%で評価する。				取り組み姿勢について適宜コメントする。	
	②						
	③						
	④						
備考							
<b>教員の実務経験:</b> 助産師の経験を有する。 <b>実践的授業の内容:</b> 実務経験のある教員の指導のもと周産期にある母子の看護について理解を深めていきます。 ○Teams を使った同時双方向授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分注意してください。 ○今後新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更を行うことがあります。							